

— 質問とやり取り —

- 県常任委員会には争議を経験した人はいるのか
- ☆ 知らないが余りいないんじゃないか
- この文書が何で出されたのか
- ☆ 北東地区委員会の印刷機問題で北東地区委員会がいろんな抗議を受けているし、間違った見解が広く出されている。

このことの実態関係を明らかにすることが求められていたこと。

佐藤さんの問題では、党と大衆団体を混同し、党に会議を開くなどは、党員としてあるまじき態度であり、そのために何度も県委員会に来るように求めた。

- なにも知らなかったら、名指して出されている。ひどいから須崎さんに『抗議する』とっておいた。ひどいんじゃないか。(11月のやり取りの文書は、公表することは、余り理解できないものだった)
- ☆ 12月8日の県の文書で『公表すること』を明確にしていることを提示した。
- 名前まで出すと書いてないが、こんな事があるのか、過去に。
- ☆ あると思う。・・どこであったかと言われると分からないけど。・・大分で選挙のときの態度の問題を公に出したことがあった気がする。
- 神奈川でもあったのか。野田さんは、神奈川で長いのだから分かるのではないか。
- ☆ それは、わからない。しかし、手紙で書いてる訳だから。
- 文書は、必ず敵権力、日立独占に絶対にわたらないと言えるのか。もし渡ったから非常に、われわれは不利になるが、利敵行為ではないのか
- ☆ それは渡るかもしれない。しかし、それをやらなければということになったんだ。あなたが、県委員会に行ったら、こんな文書は出なかった。
- 県委員会に行けと言ったって、県委員会には不信で一杯だ。
不団結問題、不団結問題というが、日立争議で不団結なのは、二人だけだ。彼らは、党にもきちんと結集してなかったではないか。この間、三回のグループ会議もやったが一つも解決しない。4回目をやると県委員会は言ったが、結局去年の二月以降招集もしなかったではないか。
県委員会は、ことあれば争議団と相談したいというが、実際には相談ではない。勝手に名指して批判の文書をふりまいていて、大体、不団結を広げたのは県委員会ではないのか。
- わたしたちにも意見を出す場を保証してほしい。これまでもずっと借りてきたから北東地区に借りに行った。何の体もないのに。それを断るとはひどいではないか。
- 質問を出したいのだ。どうやればいいのか。集団で質問を出してもまずいのか。質問するとすぐに党を攻撃していると言われる。
県委員長宛の手紙は、他意はない。率直に聞きたいから書いたが、質問する権利は我々にはないのか。どうすれば、質問ができるのか
- ☆ 支援共闘会議の在り方に問題があると言ってる

○ 原告団が、こういう支援共闘会議をつくりたいと願った共闘会議だ。私たちの主張を、意見を認めないのか。県委員会は、私たちの主張を尊重すると言っている。

☆ 巨大な独占企業とのたたかいだからみんなが支援しなければならない性格を持っている。それだけに支援共闘会議の在り方、運動の在り方が重要になる。だからこそ、ローカルセンターである県労連が中心に最初つくったはずだ。そしてもともと県労連の代表として出ていたのが、やめても居座っている。結局団体間の共闘だということで、支援する神奈川の会の代表としてるがおかしい。そして、総会も開かない。総会というのは、開くのが民主主義の原則問題だ。

○ そんな、争議団のなかで総会を開かないのはたくさんある。私たちは支援共闘会議の言いなりになっている訳ではない。きちんと自主性を貫いている。

○ 本当にがっかりする。いま朝の配達など、歯を食いしばってやっている。以前だったら要求の相談に乗ったときに日曜版をすすめていたがそんな気にもなれない。

党が誤りを正してほしい。党は真実を探究する努力などしてないではないか。二人の意見ばかり聞いたり、野口さんも来てもすぐ帰るではないか。

・二人は県委員会に求められるから話していると言っている。

○ 第一回目のグループ会議のときだって極めてずさんだ。争議団関係者で出席しないのがいるから聞くと、(連絡を)「忘れた」というし、日石化学の竹内君は権利停止を解除してないから来なかったと聞いたが、実際には終わっていた。

「スローガンが悪い」何か言われたけど、「合理化反対」等のスローガンを掲げて何が悪いんだ。どこの争議団、例えば大阪の争議団だって掲げてる。そういうことにろくに答えもしない。

○ 労連の文書が配られているが、あの文書には間違いがたくさんある。人の名前も違う。当事者の私たちには聞こうともしない。女性差別の件では、労連は加古(事務局長)さんのことしかきかないで、一方的に記事を書いている。間違っているから抗議をしたら、訂正すると言ったがそのままだ。

最初に間違った文書を出したのは労連だ。県委員会は労連の言うことはすべて正しいと言う立場なのか、吟味はしないのか。

[千代田化工の件]

○ 提訴外の人たちが、個別交渉するなどなる前に県委員会は相談にのっていたのではないか。

○ 推定すると日立のMが県に相談していた。それを見ると千代田の四人は県と相談してやってたから「秘密交渉」と言わないんじゃないかと思う。

○ 「神奈川労連や新婦人は正しい」ということから始めるのはおかしいのではないか。党として判断をしているのか疑わしい。

○ ちょっと質問すると「攻撃してきた」となる。

○ 女性差別の件は、団体署名をやったおかげで裁判所に要請し再開できた。今、一部二県より高い水準で解決しようとするんでいる。

○ 1都2県との団結ができなくなったのは、労連の西川議長が応じたのに、東京の方で拒否されてできなくなったのであり、神奈川の支援共闘会議には責任はない

最近、1都2県の人たちにあうと、「1都2県の方はめっちゃくちゃ、神奈川の方がずっと民主的でうらやましい」と言ってる。

- こういう問題をよく見もしないで見解出だすから取捨つかなくなるのではないか。
- 色々オルグに行って、相手から「神奈川労連からこういう連絡が入っているから」と言われた。
- 労連の文書だけならまだ何とかなったが、党が出した。これでそういう人たちに免許皆伝を与えたようで、支援がずっと減った。戸塚の人たちの視線も変わった。
- 県委員会は、争議が解決させないようにしているのか。会社の態度が最近悪くなっているのは、党がこういう態度をとっているからではないのか。
- ☆ とにかく県委員会に行くこと。
- 別に行かないと言ってる訳ではないんだ。いそがしいんだよ。県からも是非来てほしい。
- ☆ 別に県委員会は来ないなど言ってない。県も来るようにするからあなたたちも県委員会に行って話し合っしてほしい。

全体に要約して

1、印刷機に関する件

これまでずっと借りてきたんだ。それを急に貸さなくなった。おかしいじゃないか。別にただで借りていた訳でもない。お金を払って借りてきたんだ。共産党だったら貸すのが当然ではないか。

2、質問状の件と全県に公表した件

○ 聞きたいから質問を出した。別に党を攻撃する意図など何もない。M氏などが、みんなで決めようとするをことごとく否定するから、そして、その日に県委員会から出てきたから、「やっぱりそうか」ということになった。それでああいう文書を出した。

○ 確かに公表するとは書いてあるが、念前まで出すとは考えられなかった。全県にこれがばらまかれたのか。・・あんまりだ

○ 交渉が最終段階を迎えている段階でこういう文書をだすとは何事か。絶対に会社に渡らないという保証などないではないか。どう考えるのか。

3、支援共闘会議について、労連の関係と県委員会に対する意見

○ 労連との関係で、県委員会は「労連が絶対正しい」という見地から出発しているが、問題はたくさんある。労連の問題を県委員会として吟味しているのか。・・新婦人についても同じ。労連が発表している日立との関係の文書は事実関係が正しくなく間違いだ。

・・女性差別撤廃の関係では、労連は加古さんのことだけを一方的に聞いている。

4、県委員会にいかないという件